



2022/07/08

7月5日付け 山下議員による「事実認定における説明書」に対する意見

尾張旭市議会議長 篠田一彦 殿

政治倫理審査会 委員長 早川八郎 殿

市議会議員 川村つよし

7月5日に開催された政治倫理審査会において、山下幹雄議員より「事実認定における説明書」が提出されました。その内容について、意見などをまとめましたので、政治倫理審査会委員並びに山下議員にお渡ししたいと考えています。

1. 山下議員が暴力的行為に至る背景について

山下議員の主張として、

1-1 「議会人事において正副議長や監査委員などに名乗りを上げなかった会派については、全く意見を言う場が無く問題がある。」ということだと思います。

この意見については、私も同意します。

そのため私は、正確な日付は忘れましたが、5月臨時市議会開催前に、議事課長に対し、現在の議会人事の進行を見直す必要があると伝えています。

議会内のルールは、議員の議論の積み上げで定めてきたルールです。ルールを話し合いで変えることのできる立場にある議員が、現在のルールが気に入らないからと、それを変える努力も無しに、暴力的行為に至ったあなたの態度は、議員として失格です。あくまでも、話し合いで、言葉の力で物事を進めるべきです。

1-2 もう一つのご主張として「フロンティア旭の政務活動費の不正請求」について、審議決着不透明だというご指摘です。

山下議員も当時の議会運営委員会に参加されていたので、当然ご承知のはずですが、この件は、令和2（2020）年11月19日付けで議会運営委員会による調査報告書が公表されています。

市議会としては、証拠のある事項については調査を行い、さらに新たな証拠が見つければ



調査を行うこと、としていると認識しています。何か新たな証拠があるのであれば、ご提供頂ければよい話です。

坂江議員についても言及がありましたので、反論しておきますが、坂江議員が政務活動費の支出として提出していた、平成27(2015)年10月の「シェア金沢」視察に関し、問題があるような言われようですが、坂江議員によれば、もともと政務活動費で支出するつもりは無かったものを、会派代表者などの意向(政務活動費の増額を求める目的で、調査を行ったものはなるべく計上する)で、書類を出したという趣旨の話がされていたと思います。視察先や視察内容は問題が無くても、道中の休憩先や宿泊先での状況が、まるで後援会行事のようで、それを坂江議員自身がお認めになって、政務活動費の支出としては不適切であろうという判断をされて取り下げたものと、私は理解しています。また、夜の懇親会時の明細のようなものを、私も入手していますが、参加者で後に割り勘にしたとでも言われれば、説明がついてしまうような類いの話で、それをもって、坂江議員という人物が、監査委員に不適切だという論旨は成立しないと、私は思います。

余談ですが、今回の監査委員人事に関して言わせていただくと、坂江議員は、監査委員就任後に、会派から抜けるべきではないかと、私は思っていました。坂江議員の問題では無く、問題を起こした保守系会派の反省を示す方法として、そうすべきではないかと思えます。

2つ目のご主張について、結論的に言えば、暴力的行為に及んで良い理由にはなりません。

2. 当日の各人の動きについて

別紙に説明資料を提出していますので、参照してください。以下には、山下議員の説明書で不可解に感じたことを記します。

2-1

松原議員の顔が迫り近づいたので、防御のために、お腹の中心部で押し返そうとした
(2枚目、3、4行目)

ということですが、普通、腕を前に出し、手を広げて「来ないで」、みたいな動きになるのが自然だと思います。防御姿勢としてお腹を突き出すのは、不自然です。

2-2

別紙で示された図では、山下議員の左横から松原議員がせまってきたように見えますが、これでは、私が山下議員を正面から見るができないため、この図は誤り、または誤解を招く図だと思います。

2-3

山下議員が故意に、ぶつかっていったのは事実では無いとでも言いたいのですか？

以上